

木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

June2023



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 持続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

6月主題 水の音に みみをすます

先日30年ほど前に卒園をした保護者の方から美味しい「びわ」を頂きました。長崎県で無農薬の「びわ」を作っている方からのお品です。メッセージには以下の文面が書いてありました。

こどもたちが健やかでありますように。未来の宝がスクスク育ちますように。
天性のままにそれぞれがそれぞれを支え合う仲間でありますように。
ひとりが全体を全体が一つのために
自然がそうであるように、育ちますように。

卒園生の親より

私よりも長生きである、この「しぜんの国保育園」。ひとりが全体を、全体が一つを。私の中での「自然」への思いと責任への心の軸が太くなったように感じます。

いただいたビワは、保育者とそしてけやき組の子どもたちと食べました。大切に育てられた美味しいびわ。お礼に子どもたちがお手紙を、キッチンメンバーがコンポートと焼き菓子を作ってお送りしました。



園長 齋藤美和

じむしょ 小窓 だより

新たな環境や人との出会いで気持ちがゆらゆらしていた4、5月をこえて、まわりに目を向け発見を楽しむ余白が生まれ始めているこの頃。この時期は、特にまちあるきを大切に過ごしています。

ある日のまちあるき。

すみれ組しらかばチームとあめチームのまちあるきにお邪魔をすることに。すると、2歳の男の子が片手に虫かご、もう片方の手は後ろに隠し、なにやら話を保育者としています。耳を澄ましていると、「つなぎたくないの」と一言。

「そっか、でも車が通る道も歩くから繋いでほしいな」と保育者。それでも、手は後ろに隠したままです。すると、うーんと考えている様子をじっと見ていたのは私だけではなかったようです。その様子を見ていたのは虫に詳しいけやき組Iくん。そっと2歳の男の子のそばへ寄り、「虫かご、虫が好きなの？俺も好き」その言葉にぱっと表情が変わっていきます。

「歩きながら見つけられるかわからないけど、俺と繋いで探す？」とIくんの言葉に大きく頷き、手を繋ぎ歩き始めた2人。会話は少なくとも、その繋いだ手からはお互いの気持ちがそっと重なり合っているように感じました。

またある日のまちあるき。

うちゅうチームがハーブ園（園近くの畑）へ行くと聞きついていくことにしました。自分たちで植えた夏野菜に水をあげたり、雑草を抜いたりとお世話をする子どもたち。すると、ある1ヶ所に4、5人が頭を寄せ合い丸くなっています。そっと上から覗いてみると、中心には小さな竹。その小さな竹を巡り、子どもたちはセッションをしていたのです。

「この竹は何歳だと思う？」「小さいから0歳かな」「私たちと同じ3歳かもよ」「この大きさはけやきさんぐらいじゃない？」

「じゃあ、あの大きくのびているのは、お父さんお母さんぐらいつてことかなあ」「じゃあ、あの竹は38歳ぐらいかな」「うちのお父さんぐらい」「あの少し茶色くなっているのはおじいちゃんやおばあちゃんかも」「1番大きくて100歳かな」竹の年齢について話す姿に私は思わず、なるほど、竹の歳か、と感心。最後は友達に手を振るように竹にも手を振り、ハーブ園を後にしました。

まちあるきに出掛けるとその先で、思わぬ出会いや発見があります。その中で大人も共に子どもたちと面白がり、考えたり、時には道に迷ったり、新たなルールができたり、。まちあるきを通して、子どもと子ども、子どもと大人の関係性がさらに強くなっていくのを実感している日々です。まだまだ続くまちあるき、子どもたちの道のりや出会いはさらに広がっていきます。これからも私たち大人も共に面白がっていききたいです。

マネージャー 柳澤祐希



村の春夏秋冬 ～季節のたより・6月～

『梅雨ってなんだろう、、、』

6月というと雨がたくさん降るイメージ。ひと月ほど雨が続く時期を「梅雨」と言います。梅雨になる理由は、春から夏へと移り変わる際に、冷たい空気とあたたかい空気がぶつかるためだそうです。そのような雨が続き、”晴れてほしいな”と思う私たち。そこでよく子どもたちと話す中で出てくるのが、『てるてる坊主を作ろう』の言葉。

てるてる坊主は本来、顔は描かずにのっぺらぼうで軒先に吊るすのだそう。てるてる坊主に願いを込め、願いが叶い晴れた時はお礼に、目・鼻・口を描き、頭からお酒をかけると喜ぶという言い伝えがあるそうです。（諸説あり）

雨が続く日も、楽しいことを考えながら過ごしていききたいですね。

保育者 リレー エッセイ

今月の担当は給食室の立花真由子さんです。
【いつもおいしい給食を作ってくださいの立花さん。食のこだわりや作る時に意識していることなどあれば、教えていただきたいです。】

あゆさん、バトンありがとうございます。
登山部だったんですね～。登山とかマラソンは最も苦手な分野なので尊敬しちゃいます。
私は小学生の頃、給食が苦手な子どもでした。食べるのは遅いし、好き嫌いも多く嫌いな給食の日には母に頼んで給食を残してもいいように連絡帳に書いてもらうほどでした(笑)

しげんの国に入職した日、何十年かぶりに給食というものを食べた時に、なんて美味しいの？そして可愛い！！とビックリしたことを今でも覚えています。

その日はちょうど梅雨の時期でカエルパンという献立でした。ロールパンにちくわときゅうりでできた目。口が大きくあいていてそこにチーズとトマトが挟まっています、まるでカエルがゲコゲコ鳴いているようでした。

この時の感動が今でも自分の中に残っていて、美味しいのは大前提。子どもも大人達もみんながワクワクするようなとおきの給食を作るんだといつも意識しています。

私の食のこだわりは。。。流行りものが好きなミーハーなので休みの日にインスタでチェックしたオシャレなカフェや、人気のごはん屋さんで食べることが大好きです。最近でいうと、両国にある亀戸ぎょうざです！安くてボリューム満点でとても美味しかったです。あとは鶴沼にあるかき氷屋さんのふわふわ氷のかき氷が絶品でした。

休日に食べたランチを思い出しながら「あの時のメニュー、給食で出来ないかな～」ってスタッフに相談しながら献立を立てることもあります。

卒園していった子どもたちに、「しげんの国の給食は美味しかったな～」って大きくなったときにふと思い出してくれるようなそんな給食作りを心がけています。

今回は・・・とってもアクティブでいつも明るい笑顔でみんなを元気にしてくれる柴田さん！その元気の秘訣は何ですか？お休みの日はいつも、お出掛けしていると伺っていますが、1番良かった場所はどこですか？また次に行きたいところはありますか？

かみじまのんびり 漫画劇場

「かみじまさんは…」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」 YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>